

tinySAの |メイン / tinySA Basic / ウルトラファーストユー ス

土曜日, 11月 11, 2023 4:53 午後

クリップ元: <https://tinysa.org/wiki/pmwiki.php?n=Main.FirstUse?action=print>

から tinySA

メイン:tinySAベーシック/ウルトラファーストユース

このページの指示に従うことで、tinySAまたはtinySA Ultraを初めて使用するようセットアップします。基本的には、次のようになります。

1. tinySAを輸送箱から開梱する
2. tinySAの充電
3. 模倣品/クローンモデルのチェック
4. ユニットのファームウェアの更新(オプション)。
5. 内部セルフテストの実行
6. tinySAのキャリブレーション
7. 警告に注意する
8. (ウルトラモデルのみ):時刻/日付の設定、ウルトラモードの設定

これらの手順を完了すると、tinySAの使用を開始できます。tinySAの使用方法を説明する多くのビデオページと、より多くのヘルプを得るためのサポートのページにアクセスしてください

1. 開梱

tinySAとtinySA Ultraは、輸送中の保護のために頑丈な箱に入っています。tinySA UltraはtinySAの高度なモデルであり、以下の手順は元のtinySAモデルと同様に適用されます(以下で特に指定がない限り)。



箱の中には、いくつかのアクセサリが入ったtinySAが入っています

- SMAケーブル2本とパレルコネクタ
- SMAコネクタ付きアンテナ
- USB-Cケーブル





2. 内蔵tinySAバッテリーを充電します

tinySAを開梱した後、USBケーブルをtinySA USBポートに挿入し、ケーブルをアクティブ(5v DC)USB充電器またはコンピューターのUSBポートに接続してtinySAを充電します。最初の使用には<>時間の充電で十分です。tinySAの充電中は赤いLEDが点灯し、充電が完了すると消灯します。充電後、USBケーブルは接続したままにすることも、切断することもできます。

3. tinySAの真正性を確認する

tinySAとUltraモデルはどちらも人気のあるデバイスです。残念ながら、世界の一部の地域では、これによりユニットは偽造品にとっても魅力的になります。購入場所ページのガイダンスに従わない限り、偽物を保持している可能性があります。信頼できるソースから最新の更新されたファームウェアをロードすることは、購入したユニットが本物かどうかを確認するための最良の方法です。

4. ファームウェアの更新

tinySAは、製造日現在のファームウェアがすでにインストールされた状態で到着します。これはtinySAの使用を開始するのに十分すぎるほどであるため、必要に応じてこの手順をスキップできますが、ほとんどの所有者は、最新のバグ修正と機能アップグレードが含まれているため、ファームウェアを最新バージョンに更新したいと考えています。また、tinySA/Ultraを「ブリック」することはできないため、ファームウェアの更新時に問題が発生した場合は、以下の手順に厳密に従ったことを確認した後、プロセスを再開してください。

5. セルフテストの実行

目的のファームウェアを正常に適用すると、tinySAには内部診断を確認するために実行できる内部セルフテストがあります。セルフテストは、一部のテストに不合格となる可能性のある偽造ユニットの検出にも役立ちます(ただし、上記のようにファームウェアを正規のファームウェアに更新した後に限ります)。

1. 付属のSMAケーブルの1つを使用して、ローポートをハイポートに接続します。
2. 上部にある小さな電源スイッチを使用してtinySAに電力を供給します。
3. 画面をタッチしてメニューシステムをアクティブにし、CONFIGを選択してからSELFTTESTを選択します。ナビゲーションがうまくいかない場合は、BACKボタンを使用するか、tinySAのオフとオンを切り替えて、既知の状態に戻します。すべてがうまくいけば、セルフテストはすべてのテストに合格し、もう一度画面をタッチして結論を出すことができます。
4. 次の手順のために、高ポートと低ポートを接続したままにします

Kurt Poulsen は、上記の手順をより詳細に説明した tinySA に関するドキュメントを tinySA@groups.io で作成しました。また、初回使用時の動画でも説明しています。

Ultraのオーナー向けには、Kurt Poulsen氏の別のビデオで、Ultraモデルを使い始める方法の概要を紹介しています。

6. キャリブレーション

1. セルフテストが正常に成功したら(すべてのテストが緑色)、次のステップは低入力電力のキャリブレーションです。これは、1つの周波数に対して1回だけ行う必要があり、レベル校正は非常に安定しており、周波数に依存しないため、すべての測定の前に繰り返す必要はありません。CONFIGメニューからLEVEL CALを実行します。上部と下部の赤いレベルインジケーターが白に変わり、キャリブレーションが成功したことを示します。(このキャリブレーションでは、2つのポートをSMAケーブルで接続したままにしておくことを忘れないでください。

オプションの手順:

1. 高入力モードのレベルキャリブレーションはもう少し複雑ですが、このビデオで明確に説明されています。これは、tinySAで350Mhzを超える周波数の信号を測定する場合にのみ必要です。Ultraモデルでは、Ultraモードを有効にすることができます

7. 注意事項

1. 入力信号は+10dBm未満でなければならず、そうでなければtinySAが損傷する可能性があります。より高い電力レベルの信号を測定する場合は、外部アッテネータを使用してください。

2. どちらの入力も最大10ボルトのDCに耐えることができます。電圧が高くなるほど、入力が増える可能性があります。より高いDC電圧を

1. 入力信号は+10dBm未満でなければならず、そうでなければtinySAが損傷する可能性があります。より高い電力レベルの信号を測定する場合は、外部アッテネータを使用してください。
2. どちらの入力も最大10ボルトのDCに耐えることができます。電圧が高くなると、入力が損傷する可能性があります。より高いDC成分を持つ信号を測定する場合は、外部DCブロックを使用します。
3. 付属のアンテナを使用すると、tinySAはESDによる損傷や過負荷の影響を非常に受けやすくなります。アンテナは細心の注意を払って使用してください。送信アンテナの近くにアンテナを置かないでください。アンテナで何かに触れないでください
4. 高出力の高出力信号をイネーブルにし、セルフテストまたはレベルキャリブレーションを行った後もハイポートとローポートが接続されたままの場合、低入力アッテネータを破壊する可能性があります。高出力を有効にする前に、必ず高入力と低入力を切断してください

これで、tinySAは測定を行う準備が整いました。

入力信号をLOW入力に接続してINPUTメニューに戻ると、MODEメニューから使用する入力を選択し、LOW INPUTまたはHIGH INPUTのいずれかを選択できます。

FREQメニューを使用して表示される周波数範囲を設定し、LEVELメニューを使用して表示されるレベルを設定します。

入力メニューのPRESETボタンをクリックしてからLOAD STARTUPをクリックすることで、いつでも定義された状態に戻ることができます

8.ウルトラモデルのみ tinySA Ultraには、CONFIGメニューに日付、時刻、およびウルトラモードを設定するためのメニューオプションがあります。Ultraモードでは、より高い周波数の信号を解析できます。ほとんどの場合、すべてのユーザーがウルトラモードを有効にする必要があります

<https://tinysa.org/wiki/pmwiki.php?n=Main.FirstUse> から取得

ページの最終更新日 03年2023月11日 14:00